

北河内府民センターの移転について

令和3年1月
財務部財産活用課

移転についての方針案

【枚方市のまちづくり（枚方市駅周辺再整備）】

- 枚方市では、市の中心市街地として魅力にあふれ賑わいのあるまちを具体的に構築するため、重点的に進める区域を設定し、まちづくりの方向性や土地利用のイメージ、実現化に向けた方策などを示した枚方市駅周辺再整備基本計画（以下「基本計画」という。）の策定を予定。
- 基本計画では、市役所庁舎や枚方税務署、簡易裁判所などの施設を現府民センターのエリア（⑤街区）に再編し、現府民センターは、市の生涯学習センターや図書館、市民窓口などの行政サービス機能とともに枚方市駅の北東エリア（③街区）に整備する再開発ビルに移転・集約することが示される。
- 現在、市駅周辺再整備を具体化していくため、③街区では再開発組合が設立されるなど他の街区に先駆けてまちづくりが進められている。

【北河内府民センターの移転について】

- 先行して府民センターが移転することで、その跡地を国・市の合同庁舎等の整備へ活用が可能となり、枚方市が進めるまちづくりが実現する。
- 府民・市民等の来庁者の利便性向上につながるとともに、駅前の賑わいの創出に寄与する。

- ⇒ ○ 枚方市のまちづくりへの協力の観点から、北河内府民センターを③街区へ移転する。
○ 保留床取得の予算案、移転条例案（府税事務所・土木事務所）を令和3年2月議会に提出

本件移転についての状況

- 市街地再開発事業で生じる保留床を、(新)北河内府民センター施設として購入。
所有権は区分所有〔土地：共有、建物：区分所有〕

【③街区保留床購入費用(32.6億円)】（概算）

R3年度	・ 5.5億円
R4年度	・ 12.8億円
R5年度	・ 11.8億円
R6年度	・ 2.5億円

その他 防災アンテナ、内装等

【府民センター跡地の収入】（枚方市試算）

◆枚方市（土地区画整理事業を実施予定）
29.2億円（建物補償費込み）

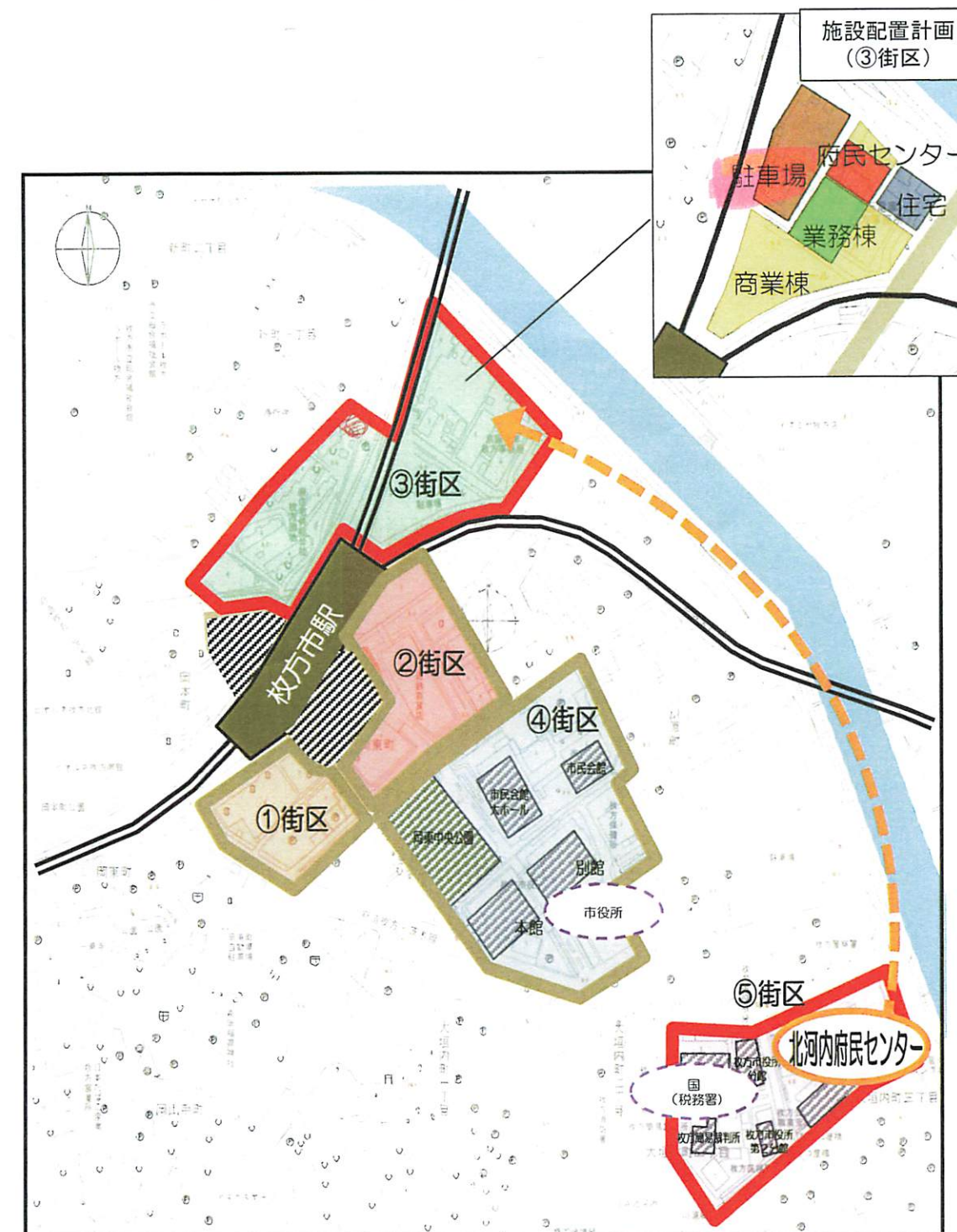
（現センターの長寿命化費用の削減）

◆築50年目の大規模改修費用 14億円

29.2億 + 14億 = 43.2億円 > 32.6億円
（収入額）（削減効果額）（支出額）

今後のスケジュール（予定）

- R3.2 ・保留床取得の予算案、移転条例案（府税事務所・土木事務所） 府議会提出
- R3年度 ・不動産買入れ案 府議会提出
（新）府民センター購入に係る契約締結
- R5年度 ・工事（事業）完了（（新）府民センター移転予定）



建築物側面図

